



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 白銅株式会社  
コード番号 7637 URL <http://www.hakudo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 關濱 亮

TEL 03-6212-2811

定時株主総会開催予定日 2023年6月28日

配当支払開始予定日

2023年6月8日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	61,602	11.1	3,777	11.2	3,988	8.8	2,737	7.6
2022年3月期	55,441	41.4	4,256	114.7	4,373	109.9	2,964	131.2

(注) 包括利益 2023年3月期 2,793百万円 (11.6%) 2022年3月期 3,161百万円 (118.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	241.37		13.3	9.4	6.1
2022年3月期	261.34		15.7	11.7	7.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	43,149	21,229	49.1	1,869.66
2022年3月期	41,780	19,829	47.5	1,748.32

(参考) 自己資本 2023年3月期 21,205百万円 2022年3月期 19,829百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	321	1,552	1,416	6,038
2022年3月期	4,555	677	1,201	8,674

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		48.00		67.00	115.00	1,304	44.0	6.9
2023年3月期		58.00		51.00	109.00	1,236	45.2	6.0
2024年3月期(予想)		34.00		43.00	77.00		40.6	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,900	2.8	1,240	44.2	1,390	41.1	940	42.8	82.88
通期	63,200	2.6	2,970	21.4	3,180	20.3	2,150	21.5	189.56

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規1社(社名) West Coast Aluminum & Stainless, LLC
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	11,343,300 株	2022年3月期	11,343,300 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,515 株	2022年3月期	1,515 株
期中平均株式数	2023年3月期	11,341,785 株	2022年3月期	11,341,835 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	58,449	11.4	3,772	7.2	3,958	4.9	2,739	1.9
2022年3月期	52,444	41.7	4,063	109.9	4,160	106.9	2,793	127.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	241.51	
2022年3月期	246.27	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	40,881		20,596		50.4	1,816.00		
2022年3月期	40,481		19,264		47.6	1,698.58		

(参考) 自己資本 2023年3月期 20,596百万円 2022年3月期 19,264百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	26,400	12.1	1,200	46.6	810	48.0	71.42	
通期	54,100	7.4	2,800	29.3	1,890	31.0	166.64	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に対する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(表示方法の変更) .....	14
(追加情報) .....	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 売上高

売上高は、前連結会計年度比11.1%増加し、過去最高の616億2百万円となりました。

主な増加要因は、販売単価の改善ならびに原材料市況の影響等によるものです。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、経済活動の持ち直しが見られました。しかしながら、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や、物価の上昇、欧米諸国を中心とした政策金利の引き上げや為替変動などによる下振れ懸念もあり、景気の先行きに不透明感が広がっております。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界においては、長期的にはIoTやDX、AIの推進などによる半導体需要の拡大が予想されているものの、在庫調整局面が続いております。

その他、工作機械業界は、第3四半期以降、輸出向けを中心に受注環境は減少傾向に転じております。

また、航空機業界の設備投資は回復の兆しが見られますが、依然として低調な状況が続いております。

このような状況のなか、「リモート営業」ツールを活用した営業活動を継続しつつ、行動制限の緩和を受け、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、顧客往訪による対面営業を徐々に再開し、新規顧客の開拓に積極的に取り組んだほか、函面加工品や新商品・新サービスの拡販に注力いたしました。

また、以前より注力しております24時間365日お見積り・ご注文可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の利用促進ならびに「白銅ネットサービス」の取扱商品数を2022年3月末の32,700品目サイズから2023年3月末には50,900品目サイズへ拡充することで、更なる顧客基盤の強化・拡大と取引先様の利便性向上に努めました。

当連結会計年度は、海外への進出・事業拡大にも積極的に取り組んでまいりました。当社は、2022年12月にアメリカ合衆国において、新たに現地法人「Hakudo USA Inc.」を設立し、2023年3月には、同社が「West Coast Aluminum & Stainless, LLC」の持ち分51%を取得いたしました。

その他、連結子会社の内、上海白銅精密材料有限公司は、中国国内における新型コロナウイルスの行動制限等の影響により、売上高は前連結会計年度を下回りましたが、株式会社AQR、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.の売上高は、前連結会計年度を上回り、好調に推移しております。

以上の顧客満足度の向上および事業規模拡大等の施策を着実に実行いたしました結果、売上高は、前連結会計年度比で増加しました。

#### ② 営業利益

営業利益は、前連結会計年度比11.2%減少し、37億7千7百万円となりました。

売上高の増加による増益要因はあったものの、運賃や電気料金をはじめとする各種コストの上昇などの影響により減益となりました。なお、減益要因には、米国子会社の「Hakudo USA Inc.」が「West Coast Aluminum & Stainless, LLC」の持分51%を取得した際の一時的な費用1億2千6百万円が含まれております。

棚卸資産影響額の差益は前連結会計年度が6億1千万円でしたが、当連結会計年度の棚卸資産影響額の差益は5億5百万円と1億4百万円減少しました。

棚卸資産影響額を除いた営業利益は、前連結会計年度比で10.1%減少し、32億7千2百万円となりました。

#### ③ 経常利益

経常利益は、営業利益の減少により前連結会計年度比8.8%減少し、39億8千8百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度比7.6%減少し、27億3千7百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

セグメント	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 当期純損益
日本	58,803百万円	3,810百万円	3,995百万円	2,776百万円
北米	－百万円	△126百万円	△126百万円	△126百万円
中国	1,581百万円	△0百万円	25百万円	14百万円
その他	1,216百万円	93百万円	94百万円	72百万円

#### ④ 当社を取り巻く環境

原材料市況は、電気銅建値がトン当たり2022年3月末の133万円から2023年3月末には123万円に下落、また、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）はトン当たり2022年3月末の48万8千円から2023年3月末には36万9千円に下落しました。一方でステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）はトン当たり2022年3月末の50万円から2023年3月末には68万円に上昇しました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

##### (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、431億4千9百万円と、対前連結会計年度末比で13億6千9百万円増加しました。

流動資産は、338億2千9百万円と、対前連結会計年度末比で2億1千3百万円増加しました。増加額内訳は、商品及び製品28億1千7百万円、電子記録債権5億5千4百万円、その他1億9千3百万円等です。減少額内訳は、現金及び預金26億3千6百万円、受取手形及び売掛金7億3千万円です。

固定資産は、93億1千9百万円と、対前連結会計年度末比で11億5千5百万円増加しました。増加額内訳は、のれん8億9百万円、有形固定資産その他1億7千6百万円等です。減少額内訳は、建物及び構築物1億7百万円です。

##### (負債)

負債合計は、219億2千万円と、対前連結会計年度末比で3千1百万円減少しました。

流動負債は、217億6千8百万円と、対前連結会計年度末比で1億3千4百万円減少しました。減少額内訳は、未払法人税等5億6千6百万円、支払手形及び買掛金3億6千2百万円、未払費用1億2千6百万円、賞与引当金1億1千9百万円等です。増加額内訳は、電子記録債務7億3千万円、1年内返済予定の長期借入金3億5千万円等です。

固定負債は、1億5千1百万円と、対前連結会計年度末比で1億3百万円増加しました。増加額内訳は、その他に計上されたリース債務9千8百万円です。

##### (純資産)

純資産は、212億2千9百万円と、対前連結会計年度末比で14億円増加しました。増加額内訳は、利益剰余金13億1千9百万円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の47.5%から49.1%となりました。

#### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ、26億3千6百万円減少し、60億3千8百万円となりました。その内訳は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億2千1百万円の資金の増加(前年同期は45億5千5百万円の資金の増加)となりました。

増加額内訳は、税金等調整前当期純利益39億8千8百万円、減価償却費8億4千5百万円、売上債権の減少5億8千4百万円等です。減少額内訳は、たな卸資産の増加24億4百万円、法人税等の支払額18億1千万円、その他2億5百万円、仕入債務の減少1億6千3百万円、その他の流動負債の減少1億6千3百万円、未払費用の減少1億3千9百万円、賞与引当金の減少1億1千9百万円等です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億5千2百万円の資金の減少(前年同期は6億7千7百万円の資金の減少)となりました。

減少額内訳は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出7億9千5百万円、有形固定資産の取得による支出4億3千4百万円、無形固定資産の取得による支出2億6千1百万円等です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、14億1千6百万円の資金の減少(前年同期は12億1百万円の資金の減少)となりました。

減少額内訳は、配当金の支払14億1千6百万円です。

## 当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	50.4	53.3	54.0	47.5	49.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	52.4	45.5	61.0	70.1	68.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	0.2	—	—	—	1.1
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	759.7	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりますが、キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）は、2020年3月期～2022年3月期において、利子を支払っている負債がないため、記載が「—」になっております。インタレスト・カバレッジ・レシオは、2019年3月期および2021年3月期～2023年3月期においては、利子の支払いがないため、記載が「—」になっております。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の分類変更による正常化が進み、経済活動の持ち直しが期待できる一方で、当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界につきましては、長期的にはIoTやDX、AIの推進などによる需要拡大が予想されているものの、短期的にはスマートフォンやパソコンなどのモバイル機器、民生機器向けの需要減速に伴い、半導体メーカーの在庫調整、生産調整による設備投資計画の見直しの動きが広がっていることから、半導体製造装置市場におきましても調整局面が当面続くものと想定されます。また、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や、物価の上昇、欧米諸国を中心とした政策金利の引き上げや為替変動などによる景気の下振れ懸念もあり、事業環境の先行き不透明感がさらに高まっております。

以上の点も織り込み、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高は632億円（当連結会計年度比2.6%増）、営業利益は29億7千万円（当連結会計年度比21.4%減）、経常利益は31億8千万円（当連結会計年度比20.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は21億5千万円（当連結会計年度比21.5%減）を予想しております。

また、原材料市況の予測は困難であるため、棚卸資産影響額は第1四半期連結累計期間までの予想を織り込んでおりますが、第2四半期以降はその影響を織り込んでおりません。なお、原材料市況は足元では弱含みで推移しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、2023年5月12日開催の取締役会において、1株当たり51円と決議いたしました。すでに実施済みの中間配当金1株当たり58円と合わせまして、年間配当金は1株当たり109円となります。

なお、次期の配当金は1株につき中間配当金34円、期末配当金43円、合計77円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,674,821	6,038,399
受取手形及び売掛金	13,322,545	12,592,427
電子記録債権	3,687,848	4,242,809
商品及び製品	7,770,408	10,588,205
原材料及び貯蔵品	32,108	43,735
その他	154,456	347,652
貸倒引当金	△26,474	△23,552
流動資産合計	33,615,714	33,829,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,766,535	7,809,571
減価償却累計額	△6,129,659	△6,280,081
建物及び構築物(純額)	1,636,876	1,529,489
機械装置及び運搬具	7,776,485	8,253,044
減価償却累計額	△5,281,475	△5,674,894
機械装置及び運搬具(純額)	2,495,009	2,578,150
土地	1,899,876	1,899,876
その他	629,515	828,731
減価償却累計額	△563,279	△586,119
その他(純額)	66,235	242,611
有形固定資産合計	6,097,997	6,250,127
無形固定資産		
のれん	—	809,310
その他	509,318	604,677
無形固定資産合計	509,318	1,413,988
投資その他の資産		
投資有価証券	944,065	1,017,535
繰延税金資産	428,919	435,630
その他	184,570	202,695
投資その他の資産合計	1,557,555	1,655,862
固定資産合計	8,164,872	9,319,978
資産合計	41,780,586	43,149,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844,404	7,481,565
電子記録債務	10,808,557	11,538,977
未払費用	986,691	860,184
1年内返済予定の長期借入金	—	350,820
未払法人税等	1,145,670	579,533
賞与引当金	604,959	485,450
役員賞与引当金	213,634	123,000
その他	299,259	348,933
流動負債合計	21,903,177	21,768,465
固定負債		
繰延税金負債	466	—
長期預り保証金	15,150	14,500
退職給付に係る負債	10,735	9,567
その他	21,982	127,754
固定負債合計	48,334	151,822
負債合計	21,951,511	21,920,287
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	17,739,890	19,059,765
自己株式	△1,878	△1,878
株主資本合計	19,359,409	20,679,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,395	160,704
為替換算調整勘定	319,269	365,289
その他の包括利益累計額合計	469,664	525,994
非支配株主持分	1	24,090
純資産合計	19,829,075	21,229,368
負債純資産合計	41,780,586	43,149,656

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	55,441,001	61,602,120
売上原価	45,131,267	51,449,517
売上総利益	10,309,733	10,152,602
販売費及び一般管理費	6,053,571	6,375,148
営業利益	4,256,162	3,777,454
営業外収益		
受取利息	7,179	9,600
受取配当金	30,441	101,630
不動産賃貸料	90,746	101,968
為替差益	20,091	20,311
その他	6,193	7,922
営業外収益合計	154,652	241,434
営業外費用		
不動産賃貸費用	25,335	19,776
支払手数料	499	499
固定資産処分損	3,400	5,755
その他	7,838	3,860
営業外費用合計	37,074	29,893
経常利益	4,373,740	3,988,995
税金等調整前当期純利益	4,373,740	3,988,995
法人税、住民税及び事業税	1,447,697	1,261,587
法人税等調整額	△38,071	△10,190
法人税等合計	1,409,625	1,251,397
当期純利益	2,964,114	2,737,598
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,964,114	2,737,597

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	2,964,114	2,737,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,452	10,309
為替換算調整勘定	182,163	46,020
その他の包括利益合計	197,615	56,329
包括利益	3,161,730	2,793,927
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,161,730	2,793,927
非支配株主に係る包括利益	0	0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	15,978,014	△1,588	17,597,823
当期変動額					
剰余金の配当			△1,202,238		△1,202,238
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,964,114		2,964,114
自己株式の取得				△289	△289
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,761,875	△289	1,761,585
当期末残高	1,000,000	621,397	17,739,890	△1,878	19,359,409

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	134,942	137,105	272,048	0	17,869,873
当期変動額					
剰余金の配当					△1,202,238
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,964,114
自己株式の取得					△289
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15,452	182,163	197,615	0	197,616
当期変動額合計	15,452	182,163	197,615	0	1,959,201
当期末残高	150,395	319,269	469,664	1	19,829,075

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	17,739,890	△1,878	19,359,409
当期変動額					
剰余金の配当			△1,417,723		△1,417,723
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,737,597		2,737,597
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,319,874	—	1,319,874
当期末残高	1,000,000	621,397	19,059,765	△1,878	20,679,284

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	150,395	319,269	469,664	1	19,829,075
当期変動額					
剰余金の配当					△1,417,723
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,737,597
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	10,309	46,020	56,329	24,089	80,419
当期変動額合計	10,309	46,020	56,329	24,089	1,400,293
当期末残高	160,704	365,289	525,994	24,090	21,229,368

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,373,740	3,988,995
減価償却費	839,714	845,330
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△666	△4,351
賞与引当金の増減額 (△は減少)	231,941	△119,627
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	165,634	△90,634
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,067	△1,504
受取利息及び受取配当金	△37,620	△111,231
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,400	5,108
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,097,266	584,696
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,790,858	△2,404,121
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,495,618	△163,576
未払費用の増減額 (△は減少)	231,251	△139,137
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△104,850	△163,921
その他	19,448	△205,339
小計	5,325,420	2,020,683
利息及び配当金の受取額	37,620	111,231
法人税等の支払額	△807,124	△1,810,466
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,555,916</b>	<b>321,448</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△459,634	△434,281
有形固定資産の売却による収入	188	2,794
無形固定資産の取得による支出	△204,187	△261,535
投資有価証券の取得による支出	△10,769	△60,136
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△795,168
その他の支出	△4,801	△13,641
その他の収入	2,145	9,030
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△677,057</b>	<b>△1,552,938</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,201,527	△1,416,602
自己株式の取得による支出	△289	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,201,816</b>	<b>△1,416,602</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	73,753	11,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,750,795	△2,636,422
現金及び現金同等物の期首残高	5,924,026	8,674,821
現金及び現金同等物の期末残高	8,674,821	6,038,399

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
現金及び預金勘定	8,674,821千円	6,038,399千円
現金及び現金同等物	8,674,821	6,038,399

※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当連結会計年度に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たにWest Coast Aluminum & Stainless, LLCを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びにWest Coast Aluminum & Stainless, LLC株式の取得価額とWest Coast Aluminum & Stainless, LLC取得による支出(純額)との関係は次のとおりであります。

流動資産	828,286 千円
固定資産	247,421
のれん	809,310
流動負債	△928,034
固定負債	△98,512
非支配株主持分	△24,088
為替換算調整勘定	△125
株式の取得価額	834,256
現金及び現金同等物	△39,088
差引：取得による支出	△795,168



(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は金属事業の単一事業であり、従来、国内においては当社および株式会社AQRが、中国においては上海白銅精密材料有限公司が担当しております。また、当連結会計年度より、北米においてはHakudo USA Inc.およびWest Coast Aluminum & Stainless, LLCが担当しております。

各会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって当社グループは、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、前連結会計年度まで「日本」、「中国」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より「北米」を加えた3区分を報告セグメントとしております。

なお、当該変更は従来存在しなかった新規区分の追加であることから、前連結会計年度のセグメント情報については従前の区分に基づき開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則および手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、親会社株主に帰属する当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,839,298	1,719,469	54,558,767	882,233	55,441,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	688,087	—	688,087	—	688,087
計	53,527,385	1,719,469	55,246,855	882,233	56,129,089
セグメント利益	2,828,478	73,482	2,901,960	61,603	2,963,564
セグメント資産	41,181,793	1,743,214	42,925,007	500,338	43,425,346
セグメント負債	21,844,294	278,227	22,122,521	178,317	22,300,839
その他の項目					
減価償却費	815,948	22,065	838,014	1,700	839,714
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	1,372,801	20,795	1,393,597	16,349	1,409,946
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	885,637	3,157	888,795	76	888,871

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	北米	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,803,774	—	1,581,716	60,385,490	1,216,630	61,602,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	872,912	—	—	872,912	—	872,912
計	59,676,686	—	1,581,716	61,258,402	1,216,630	62,475,032
セグメント利益	2,775,609	△126,294	14,974	2,664,290	72,079	2,736,369
セグメント資産	41,547,412	1,886,345	1,691,189	45,124,948	716,009	45,840,957
セグメント負債	20,842,346	1,026,546	199,372	22,068,265	284,616	22,352,881
その他の項目						
減価償却費	817,183	—	26,719	843,903	1,427	845,330
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	1,217,362	—	10,084	1,227,447	21,770	1,249,217
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	855,032	1,045,153	18,105	1,918,291	310	1,918,601

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	55,246,855	61,258,402
その他	882,233	1,216,630
セグメント間取引消去	△688,087	△872,912
連結損益計算書の売上高	55,441,001	61,602,120

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,901,960	2,664,290
その他	61,603	72,079
セグメント間取引消去	550	1,228
連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益	2,964,114	2,737,597

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	42,925,007	45,124,948
その他	500,338	716,009
セグメント間取引消去	△1,644,759	△2,691,300
連結貸借対照表の資産合計	41,780,586	43,149,656

(単位:千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22,122,521	22,068,265
その他	178,317	284,616
セグメント間取引消去	△349,327	△432,594
連結貸借対照表の負債合計	21,951,511	21,920,287

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
税金費用	1,393,597	1,227,447	16,349	21,770	△321	2,179	1,409,625	1,251,397

## (関連情報)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

## (報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

## (報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	北米	中国	計		
当期償却額	—	—	—	—	—	—
当期末残高	—	809,310	—	809,310	—	809,310

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産	1,748.32円	1,869.66円
1株当たり当期純利益	261.34円	241.37円

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,964,114	2,737,597
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	2,964,114	2,737,597
期中平均株式数(株)	11,341,835	11,341,785

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

役員の変動

##### (1)代表取締役の変動

該当事項はありません。

##### (2)取締役の変動

- ・取締役候補(監査等委員)  
岩田 龍一(現 社長付本部長)
- ・退任予定取締役(監査等委員)  
小田 律

##### (3)就任及び退任予定日

2023年6月28日